

ダイバーシティウィーク 2024

「カランコエの花」上映会・トークイベントに関するアンケート結果（感想の概要）

開催日：令和6年10月29日（火）午後0時45分～午後2時30分

会場：日本大学商学部3号館2階講堂

内容：第1部で映画「カランコエの花」を上映、第2部ではレインボーノッツ合同会社代表の五十嵐ゆり氏、Revolv代表の原田大二郎氏によるトークイベント

参加者：学生、教職員等63名（アンケート回答者：24名）

映画やトークイベントに関する感想について（アンケートから抜粋）

・映画「カランコエの花」は、40分と言う短い時間に、何度もハッとさせられる場面があり、とても興味深く見せてもらいました。続く五十嵐さんと原田さんのトーク、LGBTの人たちとの接し方について、大変貴重なアドバイスをいただきました。

・当事者の方にお話を聞ける機会があまりないのでこうした場を作ってくださいとすごく嬉しいです。LGBT+について分かっているつもりでも実際、当事者の方の話を聞くと私が思っていたのと違ったりしてまだまだ理解が足りていないのかなと思いました。だから、もっと理解を深めるためにもこの様なイベントに積極的に参加できたらなと思いました。

・教室にも、職場にもLGBTQ+の人々は必ずいるのだということを心にとめた言動が必要だと思った。

・自分が知らないだけでLGBTQの方は身近にいるかもしれないということを理解しておくことが大切であると思いました。

・LGBTQは、まだ社会的認知が低く、今そういった思いをしている人、苦しい思いをしている人は周りにいるということを自分もその周りも知識としていれていかないと思った。

・LGBTQ+についてや偏見のない社会について考えさせられる内容であった。

・相談されたときにどのような対応をすれば良いのか難しい。

・教育でしか変えられないことがあるというところが多様性だけではなく、他のことでも思う。学校で学ぶ機会というのは、大切であり、学校での知る機会というのは、大切だと思った。